

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年11月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

あれ？ レンタルビデオ店が減ってる？

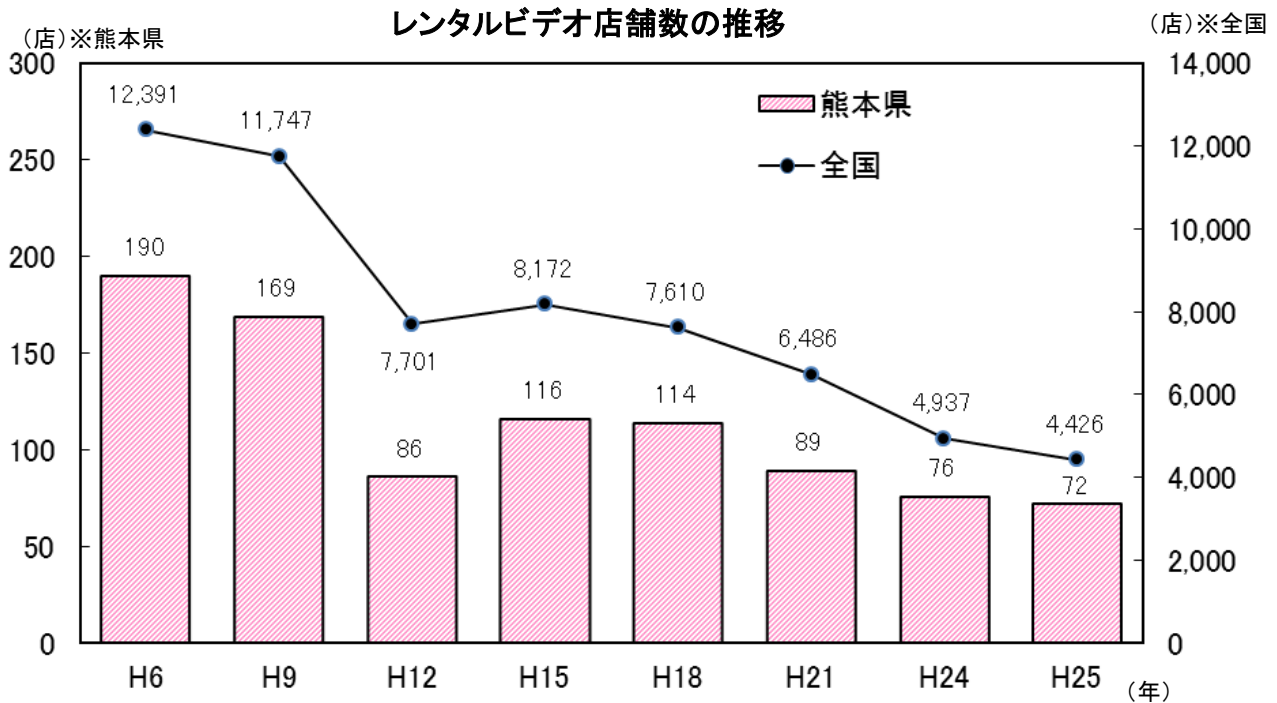


最近、レンタルビデオ店で映画やドラマを借りましたか？近くにレンタルビデオ店はありますか？

今回の統計アラカルトは、**レンタルビデオ店**に焦点を当ててみます。

図表1は、熊本県と全国のレンタルビデオ店舗数の推移を図示したものです。

(図表1)



(出典)熊本県統計調査課:「熊本くらしの指標100」

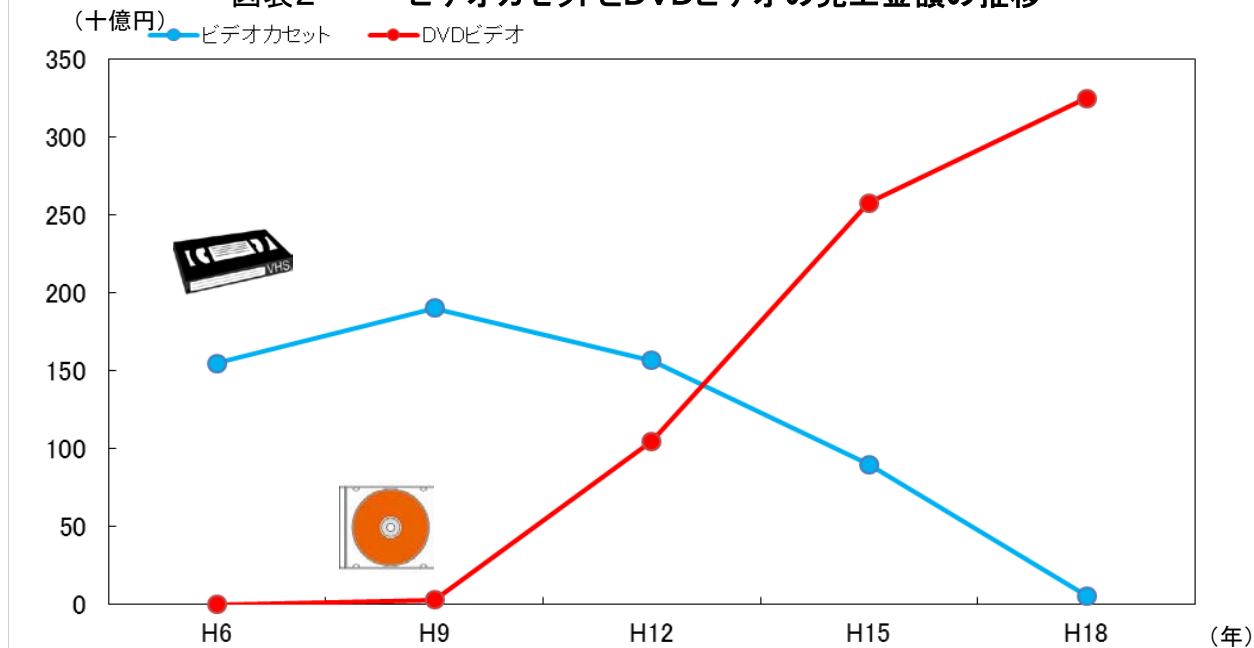
熊本県、全国ともに店舗数は同じような傾向で推移していますが、平成12年に店舗数が大きく減少しています。その後、平成15年は増加したものの、それ以降減少傾向が続いています。

それでは、なぜ、平成9年から平成12年にかけて店舗数が大きく減少したのでしょうか。

図表2は、**ビデオカセットとDVDビデオの売上金額(販売用、レンタル店用)**の推移を図示したものです。

この図からは、平成12、13年頃にかけて**ビデオカセットとDVDビデオの売上金額が逆転**していることが分かります。売上金額の内訳(販売用、レンタル店用それぞれの金額)は分かりませんが、この頃からレンタルビデオ店においても、**ビデオカセットからDVDビデオへの移行が進んだもの**と考えられます。レンタルビデオ店には、映画やドラマなど多くのビデオがあり、**DVDへの移行には多額の費用がかかる**と思われることから、この頃に**廃業したレンタルビデオ店が多かったのではないかと推測**できます。

図表2 ビデオカセットとDVDビデオの売上金額の推移



「一般社団法人日本映像ソフト協会」資料から作成

次に、平成15年以降レンタルビデオ店舗数が減少している理由について考えてみます。

図表3は、趣味・娯楽に占める「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」の割合を表しています。

平成18年と平成23年を比較すると、平成23年の方が熊本県では2.4%、全国では3.2%低くなっており、近年、趣味・娯楽に占める「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」の割合が低下していることが分かります。

図表3 趣味・娯楽に占める「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」の割合

	平成18年	平成23年
熊本県	18.6%	16.2%
全国	29.1%	25.9%

「社会生活基本調査(総務省)」から作成

なお、DVD・ビデオなどによる映画鑑賞が減少した理由についてはいろいろ考えられますが、インターネットの普及が大きな要因の一つとして挙げられるのではないのでしょうか。

パソコンはもちろん、特に最近は、スマートフォンやタブレット型端末が普及したことから、いつでもどこでも動画が視聴できる環境が整っています。「情報通信白書平成26年版(総務省)」によると、VOD市場(※)の規模は今後も拡大していくと予測されており、このような通信環境の変化がレンタルビデオ店に行く機会の減少、更にはレンタルビデオ店の減少にもつながっているのかもしれない。

皆さんもたまにはレンタルビデオ店に足を運んで、お気に入りの映画でも見つけてみませんか？

(※) 消費者がPC、テレビ、スマートフォンを含めた携帯電話、タブレット端末等で、インターネット等を経由し、自分がリクエストした映像コンテンツを視聴するサービス

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、12月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp